

## 第3学年3組 国語科学習指導案

指導者 山鹿中学校 教諭 森晋一郎

### 1 題材 「説得力のある文章を書こう 意見を主張する」(光村図書 3年)

#### 2 題材について

##### (1) 題材観

本題材は、日常生活で出会う疑問や問題をより良く解決していくための提案を意見文に書くことをねらいとしたものである。

現在の日本は、国際化、情報化の渦中であって、自他の立場を尊重し、協調的に合意点を見出すことや、物事を論理的に思考し表現する力を身につけることが望まれている。

こうした中、自分の主張をより説得力のある文章にまとめることに関心を持ち、客観的な視点から、自分の意見文を吟味し、筋道を立てて書く力を身に付けさせることは、論理的な思考力や表現力を高め、国語科の目標である「伝え合う力」を育成することになると考える。

##### (2) 系統観

1年(光村図書)	2年(光村図書)	3年(光村図書)
○暮らしを見つめる ・調べたことをもとに意見文を書く。	○世界に目を向ける ・集めた情報をもとに意見文を書く。	○論理の展開 ・説得力のある文章を書こう。 (テーマを見つけ、意見文を書こう)

##### (3) 生徒観

本学級は37名(男子18名・女子19名)の学級で、比較的明るい雰囲気がある。国語科の学習に対してやや消極的で、意見発表や自分の考えをまとめ互いに意見交換をして思考を広めたり、深めたりすることを苦手とする生徒が多い。

事前のアンケート調査結果は以下の通りである。

①説明的な文章を読むことは役に立つと思うか。

1 たいへん役立つ 11.8% 2 まあまあ役立つ 64.7% 3 あまり役立たない 17.6% 4 全く役立たない 5.9%

②説明的な文章(例えば説明文や意見文)を書くことは好きですか。

1 とても好き 2.9% 2 まあまあ好き 32.4% 3 やや嫌い 44.1% 4 とても嫌い 20.6%

③説明的な文章を書くときむずかしいと思うことはどんなことですか。(記述)

何を(どんなことを)書けばいいのかわからないこと。どの順に書けばいいのかわからない。文章構成を考えて書くことが難しい。どう説明したらいいかわからない。自分の思いを上手く文章で伝えられない。読み手に気持ちが伝わりにくいこと。体験が少ないので体験談がなかなか書けない。

④説明的な文章を書くときに、これがわかると書きやすいと思うことはどんなことですか。(記述)

例文などが書かれていれば、少し書きやすくなる。詳しい説明があること。何について書けばいいか書いてあること。具体的な例題があること。

上記のアンケートから、生徒にとって、説明的な文章を読む力をつけることに価値を見出している生徒は多いが、説明的な文章を書くことに抵抗感を感じている。そして、文章を書くときに、何をどのような順序で書けばよいかかわからなかったり、自らの考えを表現するときに相手に上手く伝わらないことに不安を感じている生徒も多い。また、文章構成をや論理の展開を筋道立てて考えることを苦手としている生徒が多い。熊本県学力調査の結果からも、自分の感情や思考を自らの言葉で書くことに落ち込みが見られる。

##### (4) 指導観

生徒の実態をふまえ、説得力のある文章を書くために、まず、書くテーマや内容を絞り込むようにする。そして、異なる見解をもつ他の人に対して、根拠を明らかにして、自分の主張を論理的に筋道を立てて書くようにさせる。また、意見文の「型」を提示し、その中で意見や根拠の順序を並び替えさせ思考や構成を練ることで、説得力のある文章にさせたい。

### 3 研究テーマとの関連

#### 【「書くこと」部会テーマ】

書くことを誘い出し、考えを深め合う手だての工夫

##### (1) 基礎・基本の徹底

① 「書くこと」トレーニング

・「書くこと」の時間と場を確保し、様々な文章を書くトレーニングをおこなう。

② 教科書の基礎・基本の分析

・意見とその根拠を分けて書くこと、反論の予想やその解決策を書くことに絞り、論理の展開を練るようにさせる。

(2) 授業作りの工夫

- ① 「書くこと」について、関心・意欲・態度を高める工夫
  - ・テーマを身近な問題にすることで書く意欲を喚起する。
- ② 「相手意識、目的意識」を明確にさせる表現の仕方の工夫
  - ・書く相手やテーマを明示して、共通の話題や認識が生まれるようにする。
- ③ 苦手意識を取り除くために、グループ学習を取り入れ、書く内容を高め合う工夫。
  - ・意見文の制作過程で、相互評価を取り入れ、意見交換や情報交換を行い、自らの文章に生かすことができるように工夫する。また、友人にアドバイスをするなどの学習活動を通して自己の有用感を高め、学ぶ意欲や思考力、表現力を向上させる。

(3) 評価の工夫

- ① 評価形態の工夫
  - ・書いた文章やメモの相互評価の方法を工夫改善し、自らの文章の変化を実感できるようにする。
- ② 評価の観点の工夫
  - ・生徒にも分かりやすい学習目標を明示し、生徒が見通しを持って学習に取り組むことができるようにし、指導と評価の一体化を図る。

4 学習指導の目標

- ◎ 書いた文章を読み合い、他の人の意見や根拠、反論の述べ方などを自分の表現に活用させる。 B-23カ
- 意見が、効果的に伝わるように、根拠や反論を使い、文章構成を工夫させる。 B-23エ
- 書いた文章を読み返し、文や文章を整えて、説得力のある文章まとめさせる。 B-23オ

5 指導計画 ( 6時間取り扱い )

時数	学習活動	評価基準	評価方法
1	・日常生活に目を向け、疑問点や問題点からテーマを見つけ、意見文を書く。	・テーマについての意見やその根拠を挙げて書いている。	・ノート ・観察 ・学習シート
1	・根拠を具体的に示すことで、主張や意見が明確になることを学び、自らの意見文の根拠を見直す。	・意見の述べ方や根拠の挙げ方を見直し、より説得力のある文章を書いている。	・学習シート ・観察 ・ノート
1 本時	・主張に説得力を持たせるため、異なる立場から客観的に見直し、より説得力のある文章を考える。	・反論の予想や反論の解決策を見直し、より説得力のある文章に書き改めている。	・学習シート ・観察
2	・説得力のある文章を書くための効果的な構成を考え、自らの意見文の構成を見直す。 ・意見文を清書する。	・意見と根拠の区別や反論等を効果的に使い、より説得力のある文章を書いている。	・観察 ・学習シート ・作文
1	・意見文を読み合い、気づいたことを伝え合う。	・相互に文章を読み合い、自分の思考や表現に役立てている。	・作文 ・観察

6 本時の学習

(1) 本時の目標 ( 4 / 6 )

- 自分の意見文について、反論やその解決策を考え、より説得力のある文章にすることができる。
- 友人の意見や根拠に対する反論を読み、より納得いく文章にするアドバイスをする。

(2) 評価

評価項目	評価基準	つまづきへの手だて
関心・意欲 ・態度	・自分の意見や根拠に対する反論やその解決策を考えようとしている。……………B	・意見や根拠で、不十分な点やあいまいな点、自信のないところを挙げさせる。 ・自分で納得できるところ、納得できないところを区別させる。
書くこと	・反論の予想や反論の解決策を見直し、より説得力のある文章に書き改めている。…B ・反論の予想や具体的な解決策を自らの体験から考えることができ、反論を論理の展開に沿って筋道立てて示している。……………A	・意見や根拠で納得できないことを考えさせる。「○○は納得できるが、○○は納得できない。」 ・反論の予想を小集団で出し合わせる。「～には○○の考えもある。」など ・反論に対する共感や疑問をメモさせる。

(3) 展開

過程	徹能	形態	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応
導入 5分	徹底	一斉	<p>1 反論のある意見文(A)と反論のない意見文(B)を読み比べ、どちらがより説得力があるかを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">                 2つの意見文を読み比べて、どちらが納得しやすいか。なぜ納得するのかを考えよう。             </div> <p>2 本時の目標を知る。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">目標：説得力のある意見文を書く鍵になる反論を</p>	<p>○こちらが納得するなあ。</p> <p>○これだと説明が不十分だなあ。</p>
展開 13分	徹底	一斉	<p>3 反論の予想と解決策や具体的提案を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">                 自分の意見文の反論を予想し、解決策や具体的提案を考えよう。             </div>	<p>○この根拠では、不十分だから、こんな反論があるなあ。</p> <p>○この反論には、□□で解決しよう。</p> <p>○反論がなく、難しいな。</p> <p>○反論では、こんなことも考えられるのではないかな。</p> <p>○この反論や解決策は自分の意見文にも使ってもいいかな。</p>
15分		班	<p>4 なかまの意見文の反論の予想と解決策や提案に納得できるかを吟味する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">                 なかまの意見文を読んで、反論の部分に納得できるか、できないかをアドバイスしよう。             </div>	
15分		能動	<p>5 なかまの反論やアドバイスを参考にして、自分の反論と解決策や提案を見直そう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">                 なかまの反論やアドバイスを参考にして、自分の意見文をもっと説得力があるようにしよう。             </div>	
まとめ 2分	徹底	一斉	<p>6 本時の学習について振り返り、次時の学習について知る。</p>	

教師の指導・支援	評価（評価方法）	備考
<p>1 2つの意見文を比較して、より納得するのはどちらかや、なぜ納得するのかを考えさせる。</p> <p>二つの文章の共通点と相違点に気づかせ、どちらが説得力があるかを考えさせる。</p>		ワークシート
<p>使って、自分の意見文をより納得してもらえるように見直そう。</p>		
<p>3 自分の意見文の根拠や意見で納得できない点をあげたり、他の人の立場に立っての反論を考えさせる。</p> <p>4 反論を多角的に考え、より客観的な意見文に近づくようにアドバイスさせる。</p> <p>多様な考えを認め、反論を述べることで、意見文に、より説得力が高まるように互いに考えを記入させるようにする。</p> <p>5 友人の意見から、新たな視点を得て、より説得力が高まるように文章を見直させる。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>自分の意見や根拠に対する反論やその解決策を考えようとしている。（観察・学習シート）</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>反論の予想や反論の解決策を見直し、より説得力のある文章に書き改めている。（学習シート、観察）</p> </div>	学習シート ノート
<p>6 本時の学習についてふり返らせ、次時の学習への意欲を喚起する。</p>		ノート